

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 信隆会	事業所名	光が丘ライフプラザ
所在地	(〒179-0072) 東京都練馬区光が丘二丁目11番1号		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

光が丘医療福祉プラザの1階に開設しました。慈誠会・光が丘病院等も併設され、住み慣れた環境で長く生活できるよう医療・福祉の両面でお支えします。地域との繋がりを大切に、気軽に相談できる拠点を目指します。(障害福祉サービス) 短期入所の(空床利用) 共生型サービスも提供しております。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2026年 2月 28日	従業者等自己評価 実施人数	( 13 ) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026年 3月 26日	出席人数(合計)	( 8 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	■自事業所職員 ( 3 人)   ■市町村職員 ( 1 人)   □地域包括支援センター職員 ( ____人)   ■地域住民の代表者 ( 2人) □利用者 ( ____人)   ■利用者の家族 ( 2 人)   ※□知見を有する者 ( 1人) 欠席のため事前に意見聴取   □その他 ( ____人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		併院の病院や系列病院や施設との連携面は強化している。 認知症ケア研修や資格取得支援は積極的に行っている。 申し送り事項や引き継ぎ事項は共有している。 介護ロボット等を導入。	おおよそ取り組んでいる・あまりできていない回答が半数。地域住民への発信が不足している。病院等への発信及び連携は強化されている。 認知症ケアへの取組強化。 配食業者の変更実施。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	契約前の実調を含め、アセスメントを強化し、利用中の状況等には、引継ぎや申し送り事項を含め共有に努めている。主治医・MSW との連携は良好。必ず事前説明後に同意・理解を得ている。	おおよそ取り組んでいる・あまりできていない回答が半数。共有不足に感じる回答もあり。リスク管理の強化が必要。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	病院等との連携面は、急変時の対応を含め行えている。 グループ外の老健や居宅との連携も良好。	おおよそ取り組んでいる・あまりできていない回答が半数。病院等との連携は一番の強みと評価できる。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	看護師の勤務時間帯に限り、医療的ケアを実施している。 サービスエリアにはできる限り、お断りせず対応している。	おおよそ取り組んでいる回答多数だが、医療的支援については対象者がいないことも挙げられる。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		ご家族様からが一定の満足感が得られていた。安心感や計画目標達成への強化に一丸となっている。	ご利用者の 2/3 くらいについては達成されている回答多数。看取り希望者はいない。

--	--	--	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		光が丘は団地も高齢者住民も多いので、開設したことは地域にとっても家族にとってもいいこと。是非広めていってほしい。	地域住民等への広報活動及び、事業所の周知徹底を図る。 病院等との連携強化の継続。 地域活動及び広報活動などの支援強化。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	その方のニーズに合わせた、細かいケアをしてくれていると思った。 定額制だが、福祉用具を複数利用する場合は超過になってしまう。 重度の方が多い傾向の場合は、会話もできないことが多いので、要介護1・2の方はどうかと思うところがある。	職員間の情報共有を徹底する。緊急ショートの入居や独居高齢者の利用受入も柔軟に対応。レクリエーション活動の充実度を図り、調理レクや外出レクの提供。 介護ロボット等を導入し、利用者の安楽な生活支援や職員の負担軽減を図る。 緊急対応や災害対策の研修、訓練の強化。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	他機関との連携は必要だと思う。居宅からもお願いしたい。 病院や老健等からの問い合わせが多いのは、利用する側にとっては安心感がある。	グループ内外の病院、老健や居宅との連携面の強化を継続。 看護師の勤務時間帯での医療的ケアの受入を増加。外来診療の案内の協力。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	自宅で暮らすのは大変だが、施設入所にためらわれるご利用者やご家族にとっての必要性がある。	地域包括や民生委員の方達と協力し、地域住民の方達が安心してサービス利用ができるよう、地域の拠点作りを目指す。

III. 結果評価 (評価項目 42～44)	他の一般的な病院にはない様な特徴のある施設であると思われるが、そのことがまだ地域に認知浸透していないのが、残念であると思う。 良いサービスだと思うが、看多機としてのイメージがわかりにくい。利用方法やサービス内容の周知に努めてほしい。	光が丘医療福祉プラザ及び光が丘ライフプラザが地域に貢献し、地域住民からの認知度が高まるよう広報活動を強化する。	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		8	5		慣れ親しんだ自宅での生活を希望されている方にとっては、良いサービスだと思う。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業	2	4	6	1		✓ 「サービスの特徴および理念等を

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 全職員が実践しているが、サービスへの理解や制度、事業所の理解までは不足している部分はまだ多い。					踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	2	4	3	4		✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	5	6	1	1		✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 認知症ケアの資格取得や研修については、積極的に外部研修に参加している。また、運営に必要な研修も外部研修へ参加している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保</b>							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	3	5	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>	
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
<b>① 運営推進会議で得られた意見等の反映</b>							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	3	8	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>	
<b>② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</b>							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	3	9	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが</li> </ul>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
						考えられます	
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	8	2		<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b>            介護ソフトを使用し全職員が記録の確認や入力、引継ぎや朝礼等を含めて共有する機会を確保している。            業務日誌も必ず確認欄をチェックするよう徹底している。</p>					
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	2	9	2		<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します            対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>	
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b>            ご利用者毎のリスク管理を徹底し、安楽な生活が送れるよう、アセスメントや情報共有を密にしている。また、次世代介護機器を導入し、ご利用者の安全確保や職員の負担軽減に努めている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>② 災害等の緊急時の体制の構築</b>							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	4	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>	
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
<b>① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</b>							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	9	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</li> </ul>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	2	2	9			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	2	9	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</li> </ul>
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	2	7	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	8	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>
<p><b>〔具体的な状況・取組内容〕</b> 危険予測、リスク管理に基づいて計画作成しているが、深掘りには欠ける部分もある。</p>							
② 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		1 2	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<p><b>〔具体的な状況・取組内容〕</b> 体調や身体状況等の変化には職員間の情報共有を図り、事必ずご利用者やご家族に事前説明・同意を得た上で反映している。</p>							
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利	1	8	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 居宅での生活状況に把握に努めているが、事前アセスメントでは通い・泊まりの希望者が多く、過度ではないがやや偏っている状況。					把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	3	10				✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用者が利用されている関係機関や職種間には必ず、目標達成についての状況報告を行っている。							
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	6	4	1		✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うこと
<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 最大限に活かしてはいないが、それぞれの職種が枠にとらわれず、柔軟な役割分担を行っている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							が重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	4	4	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 職種間の情報共有をもとに対策が行われおり、連携面は良好といえる。</p>					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	3	8	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 情報共有時に日々のサービス提供についての提案等は行われている。</p>					
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説	2	10	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用前後には必ず説明を行い、同意・理解を得ている。				複雑なサービスでどのようにしたら利用できるのか、地域住民へ説明してもらえらる機会を増やしてほしい。	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	8	3			✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 必ずご利用者やご家族へ事前説明を行い、同意・理解を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	8	2	1		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 必ずご利用者やご家族へ事前に方法等について説明を行い、同意・理解を得ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	3	10				✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 必ずご家族へ事前説明を行い、希望や意向を確認したうえで、目標やサービス提供を行っている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	2	7	3	1		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ご利用者やご家族と相談し、方針や対応策を行い確認していただいている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	1	4	5	3		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] 終末期ケアについての説明は行っているが、現状、対象者がいない。					
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	5	5	2	1	隣には病院があり、安心して利用させてもらっています。病院への連絡、受診にも円滑に行えているので助かっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>グループ内に偏らず、病院や施設等と連携や情報共有を図り、在宅生活への移行支援が行えている。現状は一番の強みとなっている。</p>							
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	4	8	1		隣には病院があるので、利用する側にとっては安心感がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>全ご利用者の緊急対応、連絡先、主治医等、明確に共有している。</p>							
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可	3	7	3		隣には病院があるので、利用する側にとっては安心感がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>
<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>近隣地域の医療機関等とは、休日夜間等</p>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	能な体制が構築されている	を含めた急変時対応の体制を構築している。					
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	4	6	2	1	地域住民の代表として、このような会議に声を掛けていただけるのはとても有難い。会議後に地域の方達に情報を伝えることができなかったので、これからもお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができる	4	9				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ような方法での情報発信が、 迅速に行われている	[具体的な状況・取組内容] 迅速にホームページへ公表し、職員が記録等を確認できるように周知している。					の2つの視点から、充足度を評価 します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	5	5	2	<p>光が丘ライフプラザ自体の情報宣伝や認知活動に努めてほしい。</p> <p>「看護小規模多機能型居宅介護」自体が、一般的には「それなに？」という存在。</p> <p>他では補完できない部分をカバーしているものだけに、今一層の情報宣伝や認知活動に努めてほしい。</p> <p>他の一般的な病院にはない様な特徴のある施設であり、必要性は高いと思う。</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およ そ でき てい る	あま り でき てい ない	全 く でき てい ない		
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している						<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	8	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の観点から、充足度を評価します</li> </ul>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れること			8	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] 現状、対象者はいない。					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		4	8	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	8	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	4	8		1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		5	6	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							<p>要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	1	5	4	3	<p>学校も併設しており、学生のスキルアップにも繋がるので、学校の実務研修に、光が丘ライフプラザの諸設備を活用して行って頂きたい。在宅時は不安な部分もありましたが、今は安心してお任せしています。家族としてもゆとりができ本人も優しくなりました。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u>		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない <u>[具体的な状況・取組内容]</u>		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」